

## 令和7年度 講座実施報告書

講座の名称	長野県男女共同参画センター“あいとぴあ”・松本市共催講座「日本のジェンダー状況」				
講座の目的	日本のジェンダーギャップ指数は、148カ国中118位（2025年）と非常に低い順位であり、より多くの方が男女共同参画社会作りの必要性を理解し、様々な取り組みを広げていくことが求められている。今の日本のジェンダー状況をデータから解き明かし、その背景や原因を探りながら、誰もが自分らしく生きられる社会について考える。				
募集対象	長野県在住・在勤、在学の方				
定員人数	50名	申込人数	会場 38名 後日配信 65名	当日参加人数	会場 26名 後日配信 31名（ユニーク数）
申込方法	ながの電子申請、電話				
託児	申込者なし				
回数	1回				
開催場所	松本市Mウイング3階 3-2会議室 （松本市中央 1-18-1）				
日時	7月19日（土）13:30～15:30				
講師	本田 由紀 さん 東京大学大学院教育学研究科 教授				
開催内容	演題「日本のジェンダー状況に山積する課題 ～背景・実態・展望～」 期間限定の後日配信あり				
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ データと図を使って、ジェンダーについて解説する手法が新鮮でよく理解できた。さらに学びを深めて行動、発信したいと思った。</li> <li>・ 先生のユニークな発想がとても勉強になりました。社会の今の閉塞的な状況に、明かるいきざしが見えた気がしました。</li> <li>・ とても熱いお話をありがとうございました。とても根深い課題だなあ と改めて感じました。全てはより良い未来を子どもたちに受け継いでいくため、男性も女性もお互いに尊重し誇りをもって生きていきたいと強く思います。</li> <li>・ いろいろなデータに裏付けられた講演で、大変勉強になりました。</li> <li>・ 数値データを裏付けに話していただき、大変腑に落ちやすく、わかりやすい内容でした。また、講師の先生の熱量が共感でき、なぜここまで日本は変えられないのか、やはり疑問も膨らみました。どうやって変えていくのか、身近なところから変化を起せるよう考えるセミナーも開催していただきたいと思いました。</li> </ul>				



講師



会場 講演の様子